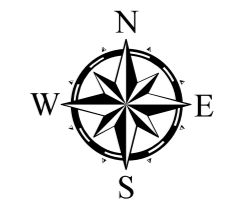
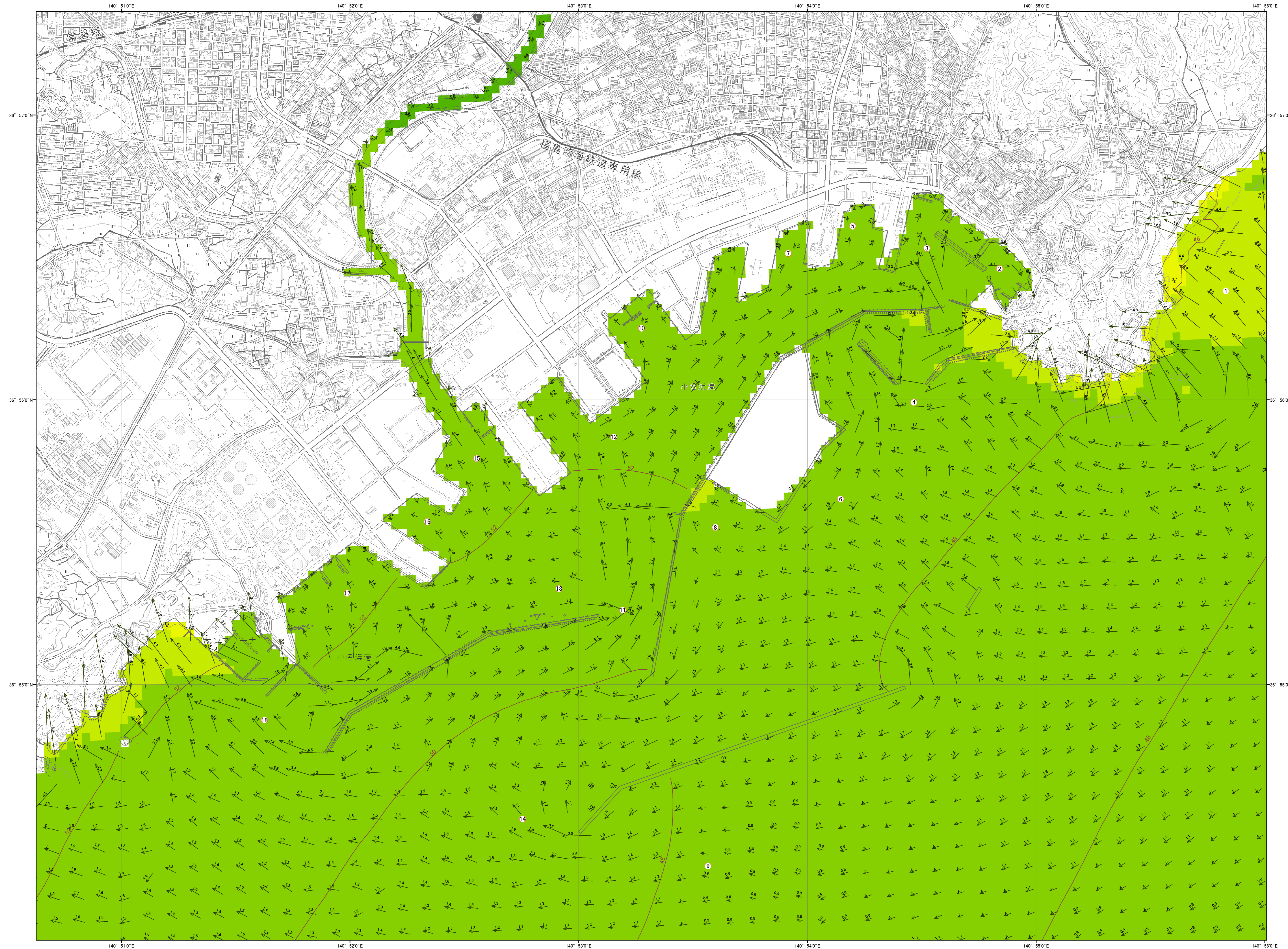


計算条件: 最高水面(零位)
隆起量: 平均 -0.01m
Zo: 0.84m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



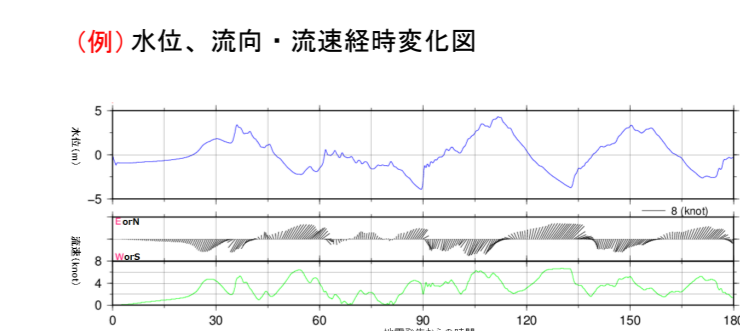
座標系:メルカトル図法
測地系:世界測地系(WGS84)



凡例

- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- 最大水位上昇
 - 3~最大3.5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 経時変化出力点

(図上の位置における津波の挙動を断面の経時変化図で示す。)

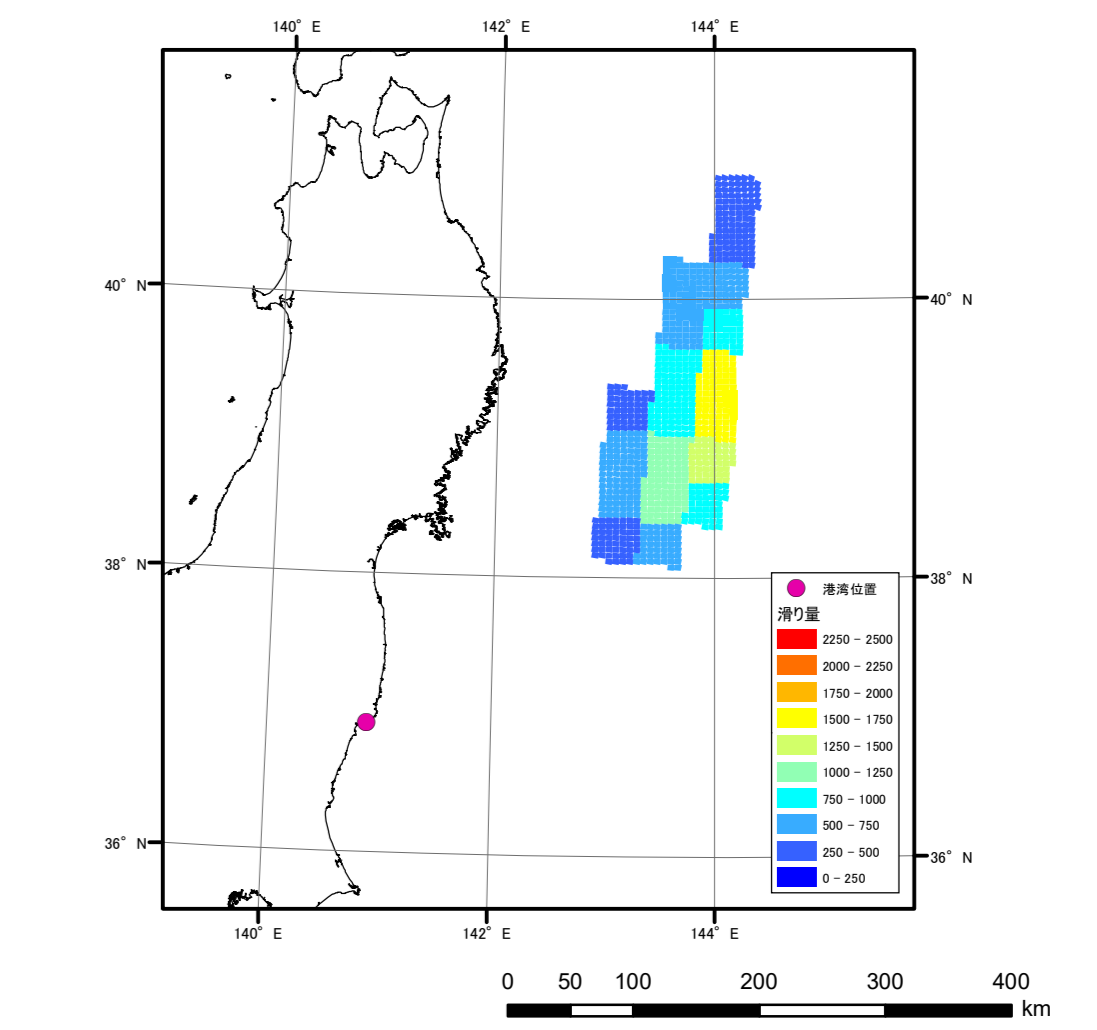


進入時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

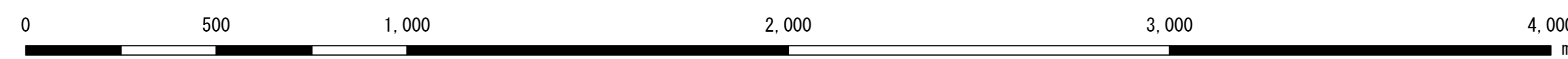
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断面モデル



明治三陸地震

モーメントマグニチュード Mw 8.6



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)・及び数値地図25000(地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情標 第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

作成機関 : 海上保安庁
防災情報図作成年月 : 平成29年7月 (初版)
地形データ作成年月 : 平成29年1月 (初版)